

市町村への指導事項（案）

(このページは白紙です。)

乳がん検診における現状と課題

検診受診率等のプロセス指標については、

1 データ参照上の注意点

丸森町については、令和元年度台風19号の水害により大きな被害を受け、調査への回答が困難になったため、集計値に含まれていない。

2 比較対象の全国値については、平成30年度の地域保健・健康増進事業報告が未公表であり、平成29年度の一次検診及び平成28年度の精密検査に関する集計ができないため、公表されている前年度の数値を用いている。

1 検診受診率(平成30年度検診実施分)

- 宮城県の検診受診率は23.93%で、全国平均(平成28年度)の14.29%より9ポイント以上高い。
- 無料クーポン利用受診率(40歳)は22.1%で、前年度の19.0%より3.1ポイント高くなっている。

表 無料クーポンを利用した受診者数・受診率

	対象者数 (うち40歳) ①	利用受診者数 (うち40歳) ②	受診率 (うち40歳) (②/①×100)
平成26年度	150,731 (15,685)	19,661 (4,022)	13.0% (25.6%)
平成27年度	26,630 (15,009)	5,542 (3,995)	20.8% (26.6%)
平成28年度	53,451 (15,156)	6,194 (3,780)	11.6% (24.9%)
平成29年度	— 13,772	— 2,618	— 19.0%
平成30年度	— 13,475	— 2,707	— 22.1%

※平成26年度以降は「過去のがん検診推進事業によるクーポン券の配布を受けたものの未受診である者」に対する送付分を含む。

※平成29年度から、無料クーポン対象者は40歳のみとなった。

2 精検受診率(平成29年度検診実施分)

- 精密検査受診率は98.81%であった。年代別で比較したところ、年代間での大きな差は見られない。
- 平成28年度の県平均は96.81%で、平成27年度の全国平均88.36%より8.45ポイント高かった。

3 がん発見率等(平成29年度検診実施分)

- がん発見率は0.37%で、全国平均(平成27年度)の0.34%と同程度となっている。
- 陽性反応適中度は8.87%と全国平均(平成27年度)の5.40%より3ポイント以上高く、かつ、精密検査該当率(要精検率)は4.13%と全国平均(平成27年度)の7.03%より3ポイント以上低いことから、検診精度は高い。

4 精度管理(平成31年度検診実施分)

- 市町村については、集団検診においてA評価が8、B評価が19、C評価が1、D評価が1、個別検診においてA評価が1、B評価が13、C評価が1となった。
- 検診実施機関については、集団検診実施機関においては、Aが2であり、個別検診実施機関においては、Aが5、Bが2となった。

(主な未充足項目)

【市町村用】

○集団検診

検診対象者の情報管理, 受診者の情報管理, 受診者への説明, 及び要精検者への説明, 精密検査結果の把握, 精密検査未受診者の特定と受診勧奨, 検診機関(医療機関)の質の担保, 受診率の集計, 要精検率の集計, 精検受診率・未受診率の集計, がん発見率の集計, 陽性反応適中度の集計, 早期がん割合の集計, 非浸潤がんの集計

○個別検診

検診対象者の情報管理, 受診者の情報管理, 受診者への説明, 及び要精検者への説明, 精密検査結果の把握, 精密検査未受診者の特定と受診勧奨, 検診機関(医療機関)の質の担保, 受診率の集計, 要精検率の集計, 精検受診率・未受診率の集計, がん発見率の集計, 陽性反応適中度の集計, 早期がん割合の集計, 非浸潤がんの集計

【検診実施機関用】

○個別検診

問診及び撮影の精度管理, システムとしての精度管理

市町村への指導事項について

がん検診事業

(1)がん検診の受診率向上等

- 宮城県がん対策推進計画の目標である「がん検診受診率70%(職域検診及び人間ドック等を含む)」の達成に向けて, 広報誌, ホームページ等あらゆる機会を利用して, 引き続き啓発に努めること。
- がん検診の周知において, 日程, 場所等のみではなく, 検診の意義やがんについての情報(がん罹患率等)もあわせて提供する等, 対象者全員に個別にがん検診受診の必要性を伝えつつ受診票を送付するなど, 受診率の向上に関する具体的な対策を講ずること。
- 検診受診率のさらなる向上をはかるため, 未受診者への再受診勧奨の実施, 過去数年間に受診歴のない者への個別勧奨の重点的な実施, 勧奨はがきをそのまま受診票として使えるようにすることなど受診勧奨の強化に努めること。

(2)がん検診事業評価のためのチェックリスト項目の遵守等

- がん検診精度管理調査におけるチェックリストの改定(平成28年3月)に沿って, 個々の検診機関と協力して現状を把握の上, 遵守に努めること。

(3)各がん検診事業における留意事項

- ① 胃がん検診事業 (胃がん部会で検討)
- ② 子宮頸がん検診事業 (子宮がん部会で検討)
- ③ 肺がん検診事業 (肺がん部会で検討)
- ④ 乳がん検診事業

- 精密検査受診率は全国平均より上回っているが, さらに, 要精密検査者のうち, 受診状況が未把握の者がいるため, 受診状況を確認し, 精密検査の受診につなげること。

- 市町村により乳がん検診の対象者にばらつきが見られるが、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に定められた対象年齢以外の者にかん検診を実施することは不利益が利益を上回るため、適切な年齢層を対象者として事業を実施すること。
 - 指針の対象外の者に対して超音波検査等を実施する場合は、利益・不利益の説明を確実にを行い、受診者の同意を得て行うこと。
- ⑤ 大腸がん検診事業 （大腸がん部会で検討）